

武田 亜希子さん (36)

徳島市沖浜東3

彫刻

壮大な宇宙追い掛け



「賞が目当てではなく2年に表現した。」

「宇宙空間」一筋。県展、二紀展などで受賞を重ね、憧れだった東京・銀座のみゆき画廊（3月閉館）での個展も2012年に実現した。

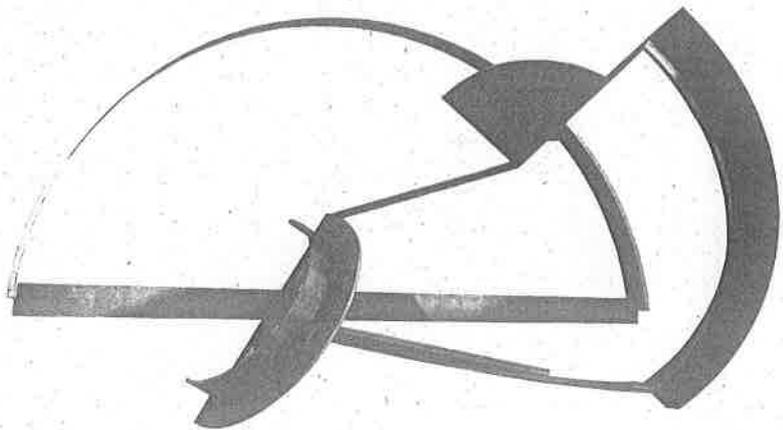
作りたいから作るだけ。壮大な宇宙を追い掛け発想は枯れたことがなくて生まれた自作は100点を超す。次へと挑む工と向き合っている。身近な生活環境と調和し、その環境を生かせる彫刻ができたら幸せ」

(尾野益大)

受賞作「月の旋律」は「全体に伸び伸びとしは、鉄板を円形に切ったり曲げたりして組み合わせた抽象彫刻。月が今すぐにも動きだし、リズムよく虚空をたどって満ち欠けする様子を表現したという。」

制作中、頭に描いたのは「宇宙に思いを巡らせ、希望につながるような大きな未来」や、無限の広がりのような「癒し」を重視しながら「素材の生かし方をいつも考えて作業している。無駄を極限まで省いてシンプルにしながらも個性を打ち出せた」

「1年余り前、思い浮かぶデザインを紙に描いた。その後、厚紙や金属で試作を20回以上繰り返し、試作品の大きさは、手のひらに収まるサイズから、受賞作を超すまでさまざま。バランスを重視しながら、ツの幅や厚みを細かく改良。「理想の形になった」と納得できたのが受賞作だった。」



武田亜希子さんの受賞作「月の旋律」